

# 年頭挨拶



学校法人福岡学園 理事長  
水田 祥代



令和4年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大によって福岡県には3回の緊急事態宣言が発出されるなど、行動制限が多い年となりました。しかし、ワクチン接種が進み、本学園の学生、教職員、施設利用者等には希望者全員にワクチン接種を実施したほか、地域の医療従事者や住民の皆さんにもワクチン接種を実施し、地域貢献に尽力することができました。

また、そのワクチン接種に関しては、本学園の医師、看護師だけではなく、歯科医師も打ち手となって福岡市の大規模接種会場において市民へのワクチン接種の支援を行いました。

この結果、福岡県のワクチン2回接種者の割合は約75%となり、11月ごろから福岡県のみならず全国的にコロナ感染者が激減し、落ち着いた年越しを迎えることができました。

これもワクチン接種に係わってくださった教職員の皆さんの努力の賜物であると、感謝いたしております。

さて、今年、学校法人福岡学園と福岡歯科大学は創立50周年を迎えます。ご存じのとおり、現在記念講堂の建設工事が進んでおり、約550席の大ホールと中小の会議室、1階には

## 第二に「教育の質的転換」として

教学IR活動を活性化させ、教育効果の向上に努める。歯科大学は、共用試験及び臨床能力試験の全員合格と歯科医師国家試験の新卒合格者数の増加を目指す。看護大学は、看護師・保健師国家試験の全員合格を目指すほか、大学基準協会の認証評価を受審する。短期大学は、歯科衛生士国家試験の全員合格を目指すとともに、共学化および4年制に向け、準備に万全を期す。

## 第三に「研究の質的転換」として

口腔医学研究センターを中心に口腔医学を基盤とする基礎的・応用的研究を推進するとともに、独自の先駆的研究や学園3大学相互の連携研究のほか、国内外の研究機関との共同研究等の推進を図る。また、学部学生、大学院生の研究の場として同センターを活用し、研究マインドの醸成に努める。

## 第四に「学生の受け入れ・支援」として

口腔医療、口腔保健、看護を志向する意欲ある優秀な学生を確保するため、学生募集活動を戦略的・改革的に実施するほか、個々の学生のニーズに応えるため、学習支援体制を充実させる。また、学生後援会、学生共済会、同窓会との連携強化を図る。

## 第五に「社会との連携・貢献」として

皆様の頑張りで、病院の患者数も少しずつ増えております。地域に立脚した機動的な病院運営の確立により更に患者増を図るほか、4月から呼吸器科の開設により診療体制を更に充実させるとともに、多職種連携により地域医療のニーズに応え、医療・保

400を超える座席を準備した新しい学生食堂ができます。また、4階には学生、教職員を対象とした保健管理センターを設置することとし、急ピッチで準備を進めています。

また、昨年説明会を開催しました「新キャンパス整備計画」の着手にも取り掛かり、体育館とアミールセンターの工事が先行して始まります。この新キャンパス整備計画は6年がかりで完了するという大きなプロジェクトです。

このように、本学園は50周年という節目の年であり、更に大きく発展する足掛かりの年を迎えました。

今年の干支(えと)は壬虎(みずのえとら)年です。昨年、芽を出した草木が、根や茎を生じて伸び始める時期とされています。本学園は、これまで培ってきた学園の先達たちの努力で50周年を迎え、次の50年、100年へと更なる発展を遂げるよう、これから皆さんとともに、着実に歩んでいきたいと思っております。

それでは本年の重点項目を述べます。

## まず、「口腔医学の推進」として

超高齢社会の中で、口腔の健康から全身の健康を守るという「口腔医学」の理念を医療・介護の現場で実践するとともに、口腔医学の理念に基づく教育研究の充実を図る。

健・福祉の発展に貢献する。

## 最後に「組織運営・財務」として

将来に向けて安定した財政基盤を維持するため、学園3大学では入学定員を充足させ、医科歯科総合病院、口腔医療センター、介護老人保健施設では収支改善に努める。また、福岡学園及び福岡歯科大学創立50周年記念式典等の各種記念事業を実施するほか、新キャンパス整備計画1期工事を開始する。

以上を重点項目といたします。

最後になりますが、これらの重点項目を達成することで、本学園は、医療・保健・福祉の総合学園として更なる発展を遂げたいくことになると思います。皆さんがそのために何ができるかを原点回歸して仕事に邁進していただけることを期待して年頭の挨拶といたします。

皆さん、今年もATM(明るく、楽しく、前向きに)頑張りましょう。

